

留学先国名 : アメリカ

留学先学校名 : Genesee Community College

留学期間 : 平成 27 年 5 月 25 日 ~ 平成 29 年 5 月 25 日

私は、ニューヨーク州立のコミュニカレッジを卒業後、バッファロー・ユニバーシティへ編入し、現在在学中です。コミュニカレッジ在学中の生活面、勉強面について、まずお話しします。私は、夏から渡米したことで、冬休みにもオンラインでの授業を取っていたこともあり、コミュニカレッジは一年半で卒業することができました。コミュニカレッジ在学中、一年間は寮に住み、残りの半年間は大学近くの家でホームステイをしました。寮生活ではトラブルが何件ありました。もちろん、ルームメイトと相性が合い、理想の寮生活を送ることができる場合もありますが、やはり文化も生活習慣も違う人たちと、同じ部屋で生活することは難しかったし、大変な部分が多かったです。私が住んでいたダブルルームでは、1 部屋を 2 人で共有し、キッチンやお風呂場は 4 人で共有しました。冷蔵庫の食材が無断で食べられたり、トイレトーパーやキッチンペーパーの購入の際にもめたりすることも多々ありました。そして、私の隣の部屋で生活していた 2 人はよくケンカをしていました。その原因は 2 人の生活リズムの違いでした。1 人は朝型の人で、早朝から始まる授業をとっていたため、夜は基本的に 9 時には就寝したかったみたいですが、もう一人は夜型の人で、夜遅くまでテレビを見たり、友達とビデオ電話をしたり、テスト前にはよく朝方まで起きて勉強をしていることもありました。2 人のケンカは頻繁にあり、最終的には 1 人が部屋を移るという形で問題は解決しました。寮では、一応、自分の生活リズムや、ルームメイトへの条件（きれい好き、静かな人希望）などは事前にリクエストすることはできますが、なかなか自分の条件にあう相手とルームメイトになることは難しいと思います。英語を話したいから、ルームメイトはアメリカ人がいいと思う人がほとんどだと思います。実際私もそうでした。しかし、やはり文化も育った環境も違う人たちと同じ部屋で暮らすとなると、いろいろとストレスや不満が出てくると思います。完璧な寮生活、ルームメイトを思い描きすぎないほうがいいのかもかもしれません。

一年間の寮生活が終わった時期に、大学近くでホームステイを募集していると聞いたので、私はその家に引っ越しました。家から大学までは、ほぼ毎日自転車で通学していました。大体自転車で片道 8 分ほどの距離でしたが、坂があったのでいい運動になりました。雨のひどい日や、雪の日はホストマザーが車で大学まで送ってくれました。ホームステイ先での生活は、とても快適でした。ホストマザーと猫一匹との生活で、自分の部屋、バスルーム、冷蔵庫は私一人で使えたので、本当に何の不便もなく半年間過ごすことができました。ただ一つの不便はスーパーへ行くのが大変になったことです。寮に住んでいるときは、週に 2 回、スーパー行きのバスが出ていましたが、ホームステイをしてからは、ホストマザーに頼んでスーパーに連れて行ってもらうか、自分で自転車で行かなければなりませんでした。私のホストマザーはいつも昼間に買い物に出かける人だったので、あまりタイミングが合わず、ほとんど自転車でスーパーに行っていました。一番近いスーパーまでは、大体 20 分から 25 分程。そしてアメリカの自転車にはカゴがついていなので、リュックに入る分しか買えません。

勉強面では、比較的コミュニカレッジは優しく、提出期限や与えられた条件を守っていれば、ちゃんといい成績がとれます。テストも、ほとんどは先生が作ったパワーポイントや教科書からの出題問題なので、しっかり予習復習をしていれば満足のできる成績が取れました。

それでは、ここからはユニバーシティでの生活と勉強面について話します。私はずっとユニバーシティへ編入することを目標にしていたので、コミュニカレッジ卒業後、すぐ自分の専攻であるビジネスが学べる学校へ編入しました。ユニバーシティの寮はコミュニカレッジの寮と比べて値段がとても高額なので、私は大学近くのアパートに住むことにしました。そのアパートは、1人ずつ個人部屋はありますが、お風呂やキッチン、洗濯機はルームメイトと5人でシェアしています。電気代などは、家賃とは別の支払いだったので、ルームメイトと協力してなるべくヒーターやエアコンはつけないようにし、使っていない電気は消すなどしています。通学時間は、アパートからバス停まで徒歩15分程、バスで約20分なので、片道約35分の距離でした。冬は早くて11月ごろから雪が降り出すので、雪が積もるとバス停まで時間がかかることもありました。私のアパートの目の前にはスーパーがあるので、食料に困ることはなく、そして週末には大学からモール行きのバスもあるので衣類などに困ることもありませんでした。コミュニカレッジからユニバーシティに編入して一番変わったことは日々の勉強量です。編入後、本当に毎日が勉強漬けでした。ユニバーシティでは、授業のレベルはもちろん、課題やテストのレベルも、ぐんと上がったのでコミュニカレッジの倍、もしくはそれ以上の時間、勉強していました。私は、月曜から金曜まで毎日朝の8時には家を出て、授業前に少し予習やクイズの勉強をした後、授業に行き、放課後は図書館に残って課題をしたり、授業の復習をしたりしていました。土日も勉強に費やしている時間が多く、あまり友達と遊ぶという余裕はありませんでした。コミュニカレッジでの授業は、多くても1クラス生徒数30人前後くらいの規模でしたが、ユニバーシティでは少なくても100人、多くても200人を超えます。なので先生が生徒に目を配ってくれたりはしないので、その分個人での努力が必要とされます。アメリカの大学は入るのは簡単だけど、出るのは難しいとよくいいますが、本当にその通りだと思います。いくら授業に休まず出席していても、課題を確実にこなしていなかったり、テストでいい成績を取っていなかったりすれば単位は取れません。ユニバーシティはコミュニカレッジより何倍も大変です。

私はまだユニバーシティに編入して一セメスターしか経っていませんが、勉強の部分ではとても苦労しました。しかし、その分テストでいい点数が取れたときには、私にもできるんだ！ととても自信ができました。どれだけ大変でも不可能なことは何一つありません。努力した分、時間を費やした分に点数はついてきますし、何事も本当に自分次第です。ユニバーシティに編入してから、何度も心が折れそうになりましたが、一セメスターを無事終えることができた今、とても自分が成長できた気がします。思い返すと、すべての課題やクイズ、テストに時間をかけて勉強しました。ネイティブの学生より何倍も何倍も努力したと言い切れます。コミュニカレッジとは違い、ユニバーシティでは、留学生への配慮は、全くといっていいほどないので、自分のアメリカ留学に対する強い意志がないとやっていくのは難しいかもしれません。

私は、あと一年半で今のユニバーシティを卒業する予定です。これからもっともっとしんどいことがあると思いますが、より成長するチャンスだと思い、日々、大切に過ごしていきたいです。